

情報工学科 情報処理実習室の利用状況報告（平成 25 年度、平成 26 年度）

西野 貴之

Usage reporting of Information processing training room of an Information Engineering department.
(2013 and 2014)

Takayuki NISHINO

1. はじめに

情報工学科の情報処理実習室には、情報リテラシーやプログラミングなどの情報教育に使用されている計算機システムがあり、各種サーバおよび端末装置から構成されている。本稿は、本システムの平成 25 年度および平成 26 年度の利用状況について報告する。

2. システム概要

情報処理実習室の計算機システムは、以下のとおりである。

- ドメインコントロールサーバ（ライセンス認証サーバ兼）1 台
- e-Learning システム 1 式
- ファイルサーバ 1 台
- 端末 50 台（Windows Vista / FreeBSD）
- レーザプリンタ 2 台
- ビデオプロジェクター 1 台
- 書画カメラ 1 台

3. e-Learning システムの開講数

e-Learning システムは、平成 26 年 4 月から新 e-Learning システムに移行した。旧 e-Learning システムの開講数と新 e-Learning システムの開講数を表 1 に示す。

表 1： e-Learning システムの開講数

	開講時期				合計
	通年	前期	後期	その他	
旧 e-Learning システム	7	0	0	4	11
新 e-Learning システム	9	0	3	5	17

e-Learning の開講時期のその他は、プログラミングの不可解消や各種アンケート調査などによる利用である。e-Learning システムの移行に伴い、開講数は新たに 6 科目増加した。

4. 情報処理実習室の利用状況

平成 25 年度および平成 26 年度の情報処理実習室の利用状況を表 2 に示す。

表 2： 情報工学科 情報処理実習室使用状況

年度等 曜日	平成 25 年度			平成 26 年度		
	時限	前期	後期	時限	前期	後期
月	1	3I109	2I108	1	4I110	4I110
	2			2		
	3	4I110	4I110	3	5I132	
	4			4		
	5	3I119	4I121	5		3I118
	6			6		
	7	4I121	2I136	7	3I118	2I135
	8			8		
火	1	3I120	5I132	1	4I121	5I132
	2			2		
	3	2I108		3	2I108	3I109
	4			4		
	5			5		
	6			6		
	7			7		
	8			8		
水	1	5I142	1I107	1	3I109	3I119
	2	[選択]		2		
	3	4I124	3I109	3	S2EI117	3I109
	4			4		
	5			5		
	6	4I138	4I138	6	4I137	4I137
	7			7		
	8			8		
木	1			1		
	2			2		
	3			3		
	4			4		
	5		3I119	5		
	6			6		
	7			7		
	8			8		
金	1	1I107		1	1I107	
	2			2		
	3	2I113	2I113	3	2I113	5I145 [選択]
	4			4		2I113 (center)
	5	5I132	5I134	5	3I120	1I107 (LL)
	6			6		
	7	5I134	3I120	7	4I124	4I121
	8			8		

表2中の文字はシラバスの科目コードを示しており、網掛けしている科目は、情報処理実習室でWindowsを使用している科目である。網掛けしていない科目は、FreeBSDを使用している科目や情報工学科の情報処理実習室以外の教室で行われる授業である。平成26年度から一部の授業が情報処理センターやLL教室で行われることに伴い、情報工学科のe-Learningシステムを情報処理センターやLL教室からも利用できるようにe-Learningシステムの設定変更を行った。

情報処理実習室では、OS起動時の選択画面でWindowsを選択すると、使用者と使用端末およびログオン/ログオフ日時をドメインコントロールサーバに記録する。本稿では、ドメインコントロールサーバに記録されたWindowsシステムの利用状況について集計を行った。

月別の利用者人数を図1に示す。

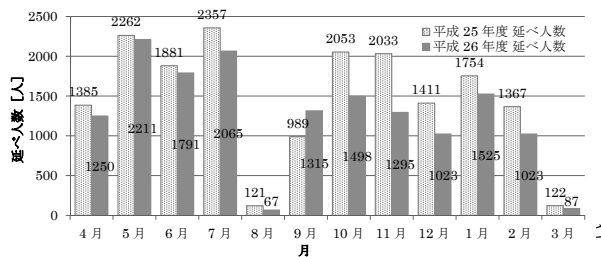


図1：情報処理実習室のWindowsシステムの月別利用者人数

公開講座や産学連携事業などの各種行事によるものである。情報処理実習室の利用は、平成26年度【後期】から、2教科(1I107、2I113)が情報処理センターおよびLL教室に移行したことにより、利用が減少した。

曜日別の利用者人数を図2に示す。

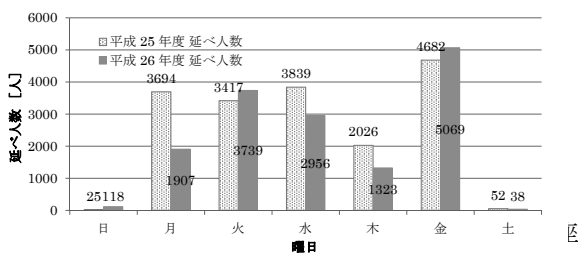


図2：情報処理実習室のWindowsシステムの曜日別利用者人数

や産学連携事業および入試説明会などの各種行事によるものである。また、木曜日の利用は、平成25年度【後期】の授業を除くと、課題提出などによるものである。

学年・グループ別の利用者数を図3に示す。

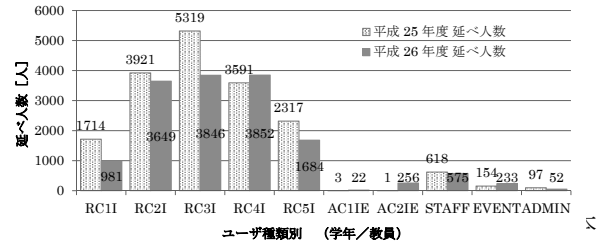


図3：情報処理実習室のWindowsシステムの学年・グループ別利用者人数

科生(RC1I~RC5I)であり、専攻科生や第5学年は、課題の提出はe-Learningシステムを研究室からでもアクセスできるため、主に授業だけの利用である。

5. 情報処理実習室のレイアウトと特徴

情報工学科の情報処理実習室のPCのレイアウトを図4に示す。

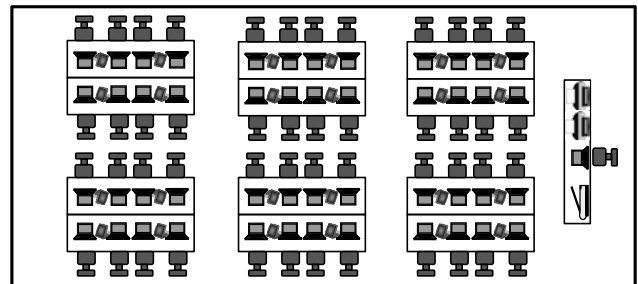


図4：情報工学科の情報処理実習室のレイアウト

情報工学科の情報処理実習室は、図4に示すように学生が向かい合って着席するレイアウト構成で、教員のPC画面や書画カメラ画像を表示する教材提示用ディスプレイを設置している。

学生は手元にあるディスプレイ切替器で提示ソースを切り替えることができる。また、各端末にはプログラミングなどのオンライン試験を考慮し、覗き見防止フィルターを設置している。

まとめ

情報処理実習室の平成25年度および平成26年度の利用状況について月別、曜日別、ユーザー別に集計を行った。情報処理実習室の稼働率は、平成26年度【後期】から一部の授業がセンターやLL教室に移行したが、それでも高い傾向にある。平成27年度からは、プログラミングⅢと情報工学実験Ⅲ以外の授業がセンター(マルチメディアやLL教室など)で行われる。今後は、今後は、FreeBSDの利用状況を含めた集計と学生の利便性などを考慮しアカウントの統合などについて検討する必要がある。